

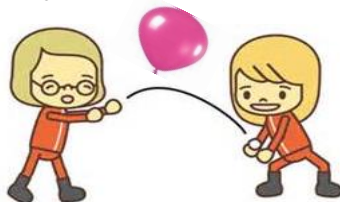
あそびのまなび

今回のテーマ「ボール・風船・シャボン玉あそび」

療育で、シャボン玉や風船、ボールを使って遊ぶことがあります。これらの遊びでは、下記のようなことをねらって活動に取り組んでいます。



- ①物をとらえる(見る)力、動くものを見てとらえ、それを追うことができる力を育てる。⇒<追視>
- ②動く物に応じて手を動かす(触ったりキャッチしたりする)力を育てる。⇒<目と手の協応>
- ③動きや色、輝きなど視覚的な感覚・『ぼよん』『ばん』など触れた時の感覚や刺激を受け取る。
- ④吹くことで口や胸、お腹の筋肉に力を入れる経験を積み、なめらかに話せる土台となる体を育てる。
- ⑤物を介して相手を意識したり、やりとりしたりする経験を積み、対人コミュニケーション力を育てる。



<追視>

追視の力が未熟だと、前を見て話に集中することが、難しかったり、よく転ぶなど怪我をしやすくなったりします。
また、就学後の黒板の文字、教科書の文字を読み取る力にもつながります。

○追視の力が整うとこんなことができる

- ・見るべきところに注目して話が聞ける。
- ・文章が正しく、スムーズに読めるようになる。
- ・読み飛ばしや読み間違いをせずに音読できるようになる。

<目と手の協応>

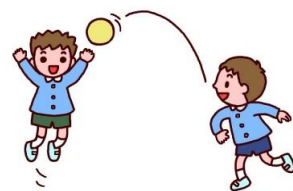
見るべきところにきちんと視線を合わせて、必要な操作ができることは、身支度でタオルをかけたり、お帳面のシールを枠の中に貼れたりするときに必要な力です。
折り紙を折るときに角を見ながらそこに合わせることも、文字を書くときにどちらの方向にどれくらいペンを動かすか、また、黒板の文字を板書する時などさまざまな場面で必要な力となります。もちろん野球やテニス、球技などの運動にもかかわってきます。

○追視の力が整うとこんなことができる

- ・ジャングルジムやうんていなどの遊具を怖がらずに取り組める。
- ・先生の見本通りにダンスや体操ができる。



ゆっくりとした動きのシャボン玉、風船、少し速くなるボール。
療育ではグループのねらいに応じて、これらの遊びを計画して行っています。
このような遊びの時に、『一生懸命、目で追えているな』『これは早くて難しいのかな？目では追えているけれど、それに合わせて手を動かすことは難しいのかな？ゆっくりしてみよう』など、子ども達が今、どんな力をつけようとしているのか見たりかわったりしてあげてください。



参考文献
「発達の気になる子の
ビジョントレーニング」
著：北出勝也